

健康だより

頭痛について

「頭痛」とは、頭部の一部あるいは全体の痛みの総称です。頭痛には、大きく分けて一次性頭痛と二次性頭痛があります。基本的に大きな病院での治療が必要になるのは、二次性頭痛の場合です。

【二次性頭痛「怖い頭痛」】

脳腫瘍、髄膜炎、脳炎、クモ膜下出血や脳卒中など脳や頭部の病気の症状として出てくる頭痛です。

二次性頭痛が疑われる基準には次のようなものがあります。

- ・急に起こった頭痛
- ・これまでに経験がないひどい頭痛
- ・突発して短時間でピークに達するような頭痛
- ・熱がある、手足の麻痺やしびれを伴うような場合
- ・頭痛が数週間のうちに悪化してくるような場合



これらのような頭痛が疑われる場合は、放っておかずに、一度近くの脳神経疾患を扱う科（脳神経外科または脳神経内科）を受診して、必要な検査を受けましょう。なお、急に症状が出現した場合には、すぐに受診しましょう。

【一次性頭痛「厄介な頭痛」】

原因となるようなはっきりとした疾患がなく、怖くはないものの根治がなかなか期待できない“厄介な頭痛”です。片頭痛や緊張型頭痛が代表的で、「いかに上手に付き合うか」が大事な頭痛です。

- ・片頭痛：発作的に起こり、4～72時間持続する。片側性のズキズキと脈打つような痛みが特徴。両側に起こることもある。
- ・緊張型頭痛：最も多い頭痛の一つ。首や肩などの筋肉のコリや、「こころの緊張」が関連していることも多い。
- ・群発頭痛：目の奥や側頭部に激しい痛みが起こる。数週から数か月の期間、群発するのが特徴。

一次性頭痛は、「まちのお医者さん」でも十分に対処してもらえることも多いですが、痛みが悪化してくるような場合などは、頭痛の専門家を受診しましょう。

参考：日本頭痛学会HP「頭痛について知る」／神戸大学医学部附属病院 脳神経外科HP「“頭痛”について」